

さあ！里山の生きものたちに会いに行こう！！ ～自然の楽しさ、野生動物の魅力を伝える始発点～

江藤公俊・森正恵（一般社団法人里山いきもの研究所）

はじめに

「環境教育」では、環境に関わる知識と技能を修得するだけでなく、環境を持続可能なものにするための活動に参加することや、個々の人々が環境のために何を優先するかという価値観を確かなものにし、そのために新しいライフスタイルを創造していくことも目標となっています。また、環境を総合的にとらえ体験的に学習することを特色としており、人間の成長や発達過程における心の環境も重要な対象となります。

日本の環境教育では、改正教育基本法の第2条「教育の目的」の一項に、「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」と明記されています。しかし、多面的総合的な要素を数多く含み、流動的で刻々と変化していく「環境」に対し、実態に即した的確な指導を行っていくことや、学習プログラム等を確立していくことには、非常に困難な一面もあります。

そのような中、一般社団法人里山いきもの研究所では、科学的知見に基づく野生動物の正しい知識を伝えると共に、児童文化手法や剥製標本等を用い、五感を活用して里山への興味や関心を掻き立てるようなプログラムの提供を目指しています。



写真1 剥製標本のハンズオン。触感は？形は？

どんなことをしているの？



写真2 人形劇で使用する小道具。全て手作り！

を企画・実施しています。

山の中や獣害対策を行っている集落での調査、学校や博物館、自然公園等の教育の場、行政、狩猟の現場等で培った経験、音楽・美術・児童文化など各自が持つ得意分野、さらには親としての視点などを生かしてアイデアを出し合いながら、9名のメンバーが日々楽しく活動しています。

里山いきもの研究所は、「次代を担う子どもたちに里山の魅力を伝えたい」「里山に興味関心を持って、実際に里山で活動しようとする人たちの力になりたい」「里山や周辺の集落で起こっている人と野生動物との軋轢を解決したい」という共通の志を持つメンバーが集まり、平成26年度に結成されました。

里山いきもの研究所の事業は、調査研究と普及共育が大きな二本の柱になっています。兵庫県を中心とした里山の野生動物を調査しつつ、調査を通じて経験した里山の楽しさを子どもたちに伝えるため、主に県立の自然公園や博物館等で子ども向けワークショップ等

体感しよう！想像しよう！

平成29年度実施した主なワークショップは、兵庫県立有馬富士公園「どんぐり劇場（一庫公園おでかけワークショップ）」（兵庫県三田市）、兵庫県森林動物研究センター一般公開日ワークショップ（兵庫県丹波市）、子育て支援施設子ども向けワークショップ（兵庫県篠山市）、兵庫県立一庫公園「むし

虫調査隊」(兵庫県川西市)等があります。どのプログラムも、里山の生きものたちの生き生きとした暮らしを体感したり想像したりできるよう、知識だけではなく、音や匂い、触感等子どもたちの感覚に残るよう工夫しています。また、県立公園の展示物作製や専門学校での実習指導なども継続的にを行っています。

里山いきもの研究所の合言葉は、「体感しよう！想像しよう！」。本物を体感して五感を刺激し、直接見ることはできなくてもそこに暮らす野生動物の姿や里山の将来像を想像できるようなプログラムを、これからも参加者の皆さんと共につくっていきたいと思います。

今年度は、ひょうごグリーンサポーターや兵庫県立三木山森林公園サポーターに登録する等、活動の幅を少しずつ広げていきました。また、来年度に向けて、連続講座や大人向けのワークショップ等も企画しているところです。

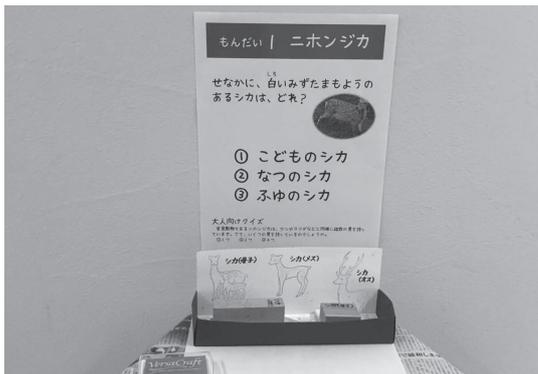


写真3 動物クイズ&スタンプラリー！何問解ける？



写真4 里山のどこにどんな動物がいるのかな？



写真5 夏は虫むし調査隊！捕まえて調べよう！



写真6 手作り消しゴムはんこ。子どもたちに大人気

里山いきもの研究所の想い

私たちが大切にしているのは、子どもたちに自然の楽しさや野生動物の魅力を伝えることに加え、それらに興味を持った子どもたちの背中をそっと押してあげることです。

一步踏み出した先には、新しい発見やこれまで気付かなかった風景との出会いが待っています。そのような出会いが、野生動物に対する想像や共感を引き出し、将来、里山保全に最適な行動を選択することのできる力を育み、子どもたち自身の人生の豊かさ、さらには社会全体の豊かさに繋がっていくと考えています。そのためにも、まず、私たち自身が里山や野生動物たちへの好奇心をもって、自然と向き合うように日々心懸けています。

里山には素敵な出会いが数多く待っています。さあ！私たちと一緒に里山の生きものたちに会いに行きましょう！

HP:<http://satoiki.sakura.ne.jp>

Facebook:<https://www.facebook.com/satoyamaikimono/?ref=bookmarks>